



宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.5



平成23年11月

石巻市寄磯診療所が再開しました！



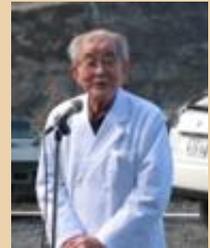
【開所式の様子】

をお願いしたい」と挨拶。当日も地域住民の方々が「富永先生が戻ってきてくれた」と喜びながら開所式にかけつけていました。寄磯診療所は、内科、神経内科、循環器科の3科で医師1名、看護師1名、事務担当1名の3人体制。これまでも1日あたり20～30人の患者さんが受診しており、富永医師は今後は地域で往診も行っていきたいと抱負を語りました。

石巻市牡鹿の寄磯・前網浜地区では震災により診療所が被災し、無医地区となっていました。11月9日、石巻市寄磯診療所の開所式が行われ、診療が再開されました。診療所長の富永医師はまもなく84歳という高齢ながらも、震災前から16年もの間、この地域の医療を見守り続けてきました。開所式では、「この診療所は開設されて40年以上もの間、住民に支えられ、必要とされてきた。これからも地域の住民が誇りと希望を持って生活していけるよう、行政、関係者の方々に協力

富永忠弘医師プロフィール

- **出身** 石巻市
- **経歴** 仙台市医療センター・仙台オープン病院長を経て、1995年から現職
- **専門** 高血圧症、動脈硬化症



【富永 医師】

女川町『ここから専門員』活動開始

11月1日、『女川町こころとからだづくりの相談センター』の開所式が行われました。開所式では女川町長から『ここから専門員（こころとからだの専門員）』の方々に委嘱状が交付されました。



【開所式の様子】

ここから専門員は町内7カ所のサブセンター（集会所）で、仮設住宅や居宅で生活する方々のこころとからだの健康支援などを行うことになっており、今後は地域住民が集まる場の企画・運営、交流サロンの企画、こころのケア相談、家庭訪問などの活動が予定されています。

被災者支援従事者研修会開催

11月9～11日、県石巻合同庁舎で「宮城県被災者支援従事者研修会」が開催されました。この研修は宮城県サポートセンター支援事務所が仮設住宅サポートセンター従事者を対象として被災者支援業務に関する知識や地域福祉活動の実践ノウハウを学ぶために開催。石巻市、東松島市、女川町などの社会福祉協議会に所属する生活支援相談員や仮設住宅のサポートセンターの相談員60名ほどが参加しました。講師に兵庫県社会福祉協議会地域福祉コーディネーター指導員らを迎え、被災者の抱える暮らしの課題や信頼関係の構築などについてグループワークを行いました。この研修は今回の基礎研修のほか、来年3月まで合計8回の講義が計画されています。

◀仮設住宅サポートセンター設置状況▶

(11月1現在)

- 石巻市 12カ所
- 東松島市 3カ所
- 女川町 8カ所

仮設住宅で困っていませんか？



県では、これまでの石巻圏域の相談状況を基に、応急仮設住宅のバリアフリー化ニーズの把握や対応を後押しすることを目的に、宮城県介護研修センター（大崎市）とともに**入居者と支援者向けのパンフレット**を作成しました。

パンフレットでは、特に高齢者や障害をお持ちの方で仮設住宅での入浴や出入り口で支障が生じている方の不便さを解消する方法を紹介しています。当所でもリハビリテーション相談事業で理学療法士が個別の相談対応・支援を行っていますので、ご相談ください。

■問い合わせ先 成人高齢班 TEL0225-95-1419

女川町、震災廃棄物の処理状況

女川町の震災廃棄物発生量は、環境省による推定で444,000トンにのぼります。現在、石浜地区に震災廃棄物の処理施設を建設し、**粗大ゴミ破碎や再利用木材のチップ化、可燃物の減容化破碎**を行っています。

石巻地域（石巻市、東松島市、女川町）の中では、女川町が最も早く震災廃棄物処理施設の稼働をし、震災廃棄物のリサイクル事業にも取り組みます。コンクリートがらは、町内の道路嵩上げに利用、チップ化された木材はセイホクや日本製紙に搬出し、再利用される予定です。また、可燃物については、一部東京都への県外搬出が行われることになりました。



(写真)

左の写真は、破碎し、円筒状のふるいで選別するトロンメルライン

応援派遣職員を紹介します！

東部保健福祉事務所では、10月1日より東京都から派遣された横井純子さん（保健師）が、母子・障害班の業務をサポートしてくれています。



(中央：横井さん)
母子・障害班の保健師と

石巻で
頑張ってます！

✚ 東京都から来ました、保健師の横井です！

10月からお世話になっています。9月まで東京都多摩小平保健所で感染症対策の仕事をしていました。結核や感染症発生が多く、例年より多くの施設職員と一緒に、集団感染防止対策に取り組んでいました。また、感染症発生時対応に困っている保育園が多いという地域課題もあり、管内保育園のネットワーク作りで事例検討等をしていました。東部保健福祉事務所では母子保健や精神保健事業、女川町への保健活動支援に関わらせていただいています。被災された住民の方々が願う地域づくりに皆さんと一緒に取り組ませていただけることに感謝しています。来年3月までよろしくお願いします。

問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所
企画総務班 企画調整グループ
HP: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>
Tel: 0225-95-1416(代表)
Fax: 0225-94-8982

編集後記

朝晩めっきり冷え込むようになってきました。今年は事務室の座席数が約2倍に増え、心持ち暖かくなることを期待しますが、寒さはこれから！？しっかりと寒さ対策をして、風邪をひかないよう業務に励みます。ご意見、情報をぜひ左記までお寄せください(^_^)。